

普及項目	資源管理
漁業種類等	なまこ桁網
対象魚類	アオナマコ
対象海域	八代海

アオナマコの資源管理指導

天草広域本部水産課・阿部 慎一郎

【背景・目的・目標（指標）】

天草市新和町地区は、漁業者の高齢化、後継者不足により、水揚げは減少傾向にある。そこで、地元漁業者は、新たな収入源確保のため、平成 27 年（2015 年）からアオナマコを漁獲対象とするなまこ桁網漁業の操業と種苗放流及び自主的な漁獲規制を開始した。

アオナマコの漁獲量は、平成 27 年度（2015 年度）は約 4.3 t であったが、令和元年度（2019 年度）には約 0.7 t に減少した。そこで、同地区では、令和 2 年（2020 年）2 月から、なまこ桁網漁業の休漁措置を実施している。

今回、令和元年度（2019 年度）のアオナマコ漁獲量の約 0.7 t 以上の漁獲を目標として、同地区のなまこ桁網漁業者へのアオナマコ資源管理指導を実施した。

【普及の内容・特徴】

令和 3 年（2021 年）6 月 29 日、株式会社長崎県漁業公社からアオナマコ種苗を 5 万匹購入。岩手県の事例を参考に、種苗の保護のため、網袋にヒオウギガイ、イワガキ及びアコヤガイの貝殻 10kg 程度を詰めた貝殻礁内に種苗を入れて海底に設置した（図 1）。

また、令和 3 年（2021 年）10 月 28 日に開催されたなまこ桁網漁業者の会議に出席し、事前に試験操業を実施し、令和 3 年度（2021 年度）の操業可否を判断するよう指導した。

さらに、令和 4 年（2022 年）1 月下旬に同地区の 2 ヶ所の漁場で実施された試験操業（図 2）に立ち会い、休漁により資源状態が改善されたことが確認された（表 1）。

表 1 令和 4 年 1 月の試験操業による漁獲個数及び過去の操業での漁獲個数

漁場名	R4.1 月 (休漁後)	R1 年度（漁獲悪化 による休漁直前）※	H30 年度以前 (漁獲悪化前) ※
芝方（30 分操業）	10	3	15
中田（60 分操業）	16	6	60

※R1 年度及び H30 年度以前については、聞き取り値を記載。

【成果・活用】

試験操業の結果、2 年ぶりになまこ桁網漁業が再開され、令和元年度（2019 年度）の約 0.7 t の 2 倍以上となる約 1.5 t のアオナマコが漁獲された（図 3）。

今後もアオナマコの資源回復を目指し、種苗放流による増殖、漁獲規制、各漁場の輪番での休漁による資源管理について指導を継続し、持続的ななまこ桁網漁業の実現を図る。

【達成度自己評価】

5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）



図1 アオナマコ種苗の放流



図2 なまこ桁網の試験操業

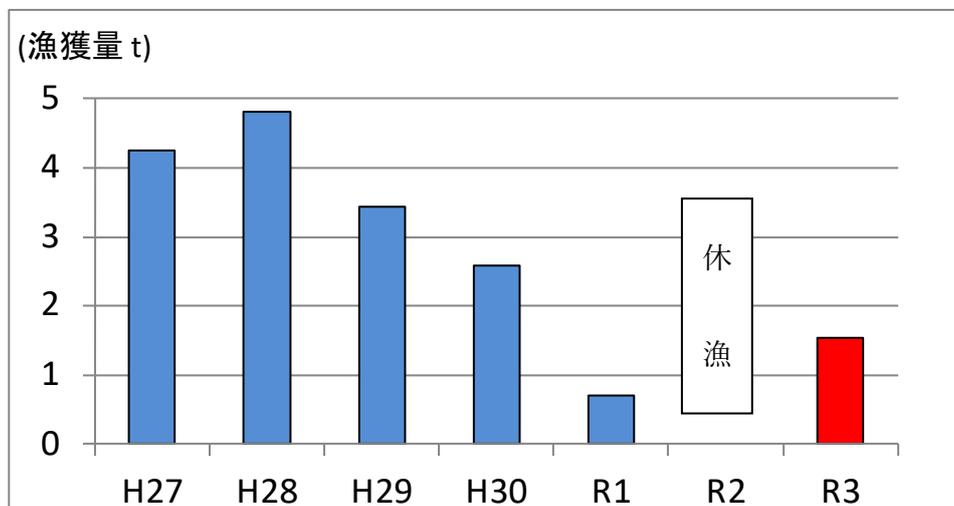


図3 天草市新和町地区なまこ桁網によるアオナマコ漁獲量